

新首相に高市氏

初の女性、自維政権発足へ

自民党の高市早苗総裁(64)は21日午後、衆院本会議の1回目の首相指名選挙で第104代首相に選出された。女性の首相就任は憲政史上初。石破茂首相(68)の退陣表明から1カ月半を経て政権を引き継ぐ。直ちに組閣に着手し、皇居での首相任命式と閣僚認証式を経て、自民と日本維新の会による連立政権を発足させる。物価高対策を裏付ける2025年度補正予算案の編成指示を検討している。



衆院本会議で第104代首相に指名され、起立する自民党の高市早苗総裁。憲政史上初となる女性首相が誕生した。21日午後1時47分

少数与党の中、立憲民

主党の野田佳彦代表は、新内閣では小泉進次郎国民民主党の玉木雄一郎農相(44)を防衛相に、片代表への投票も選択肢だとして野党候補の一本化を模索したが、不調に終わった。

自民は24日に衆参両院で高市氏の所信表明演説を実施する日程を想定。奈良県出身の首相は補佐官に迎える。

トランプ米大統領の来日、韓国でのアジア太平洋経済協力会議(APEC)など下旬の首脳外交日程が終わり次第、各党の代表質問を行う方向で野党と調整している。高市氏は1993年初に衆院初当選し10期目。石破内閣は21日午前の閣議で総辞職した。自民総裁と首相が異なる「総・総分離」の期間が異例の18日に及んだ。